

やまきたまち 議会 だより

議会ののおと

- P2～3 …新たなコロナ生活支援策
- P4～9 …6名の議員が町政を問う
- P11 …第2期議会広報モニタースタート



議会ホームページは
こちらから

未来へ向かってアタック！！
山北JVC（ジュニアバレーボールクラブ）（関連記事は裏表紙に）

ここが
聞きたい



定例会・臨時会

コロナ対応、原油・物価高騰に対する支援

臨時特別給付金支給

4月臨時会(4月25日)	内 容
母子保健事業	妊娠後期の妊婦にタクシー代補助(40万円)
児童・生徒・学生への支援	給食費等助成、高校生・大学生に図書カード等配布(3132万円)
さらにくらし応援!! D52 (ゴーツー)商品券	プレミアム率50%の商品券発行(1億9227万円)
6月定例会(6月10日~14日)	内 容
臨時特別給付金事業	子育て世帯・非課税世帯へ臨時給付金支給(2822万円)
生活交通対策事業	バス会社・タクシー会社への支援金(88万円)
介護保険条例の一部を改正	コロナの影響で減収が見込まれる場合等の介護保険税減免措置を1年延長

4月臨時会(4月25日)

妊産婦へタクシー代助成

1回の上限が1万
3000円を5回支給
の根拠は。

保険健康課長 妊娠後期検
診時の片道利用を1回とし
て4回分、陣痛発生時の1
回分である。箒沢地区から
小田原市立病院までの深夜
料金を基準にした。

高校生・大学生
に新たな支援

未就学児への支援は
ないが考えは。

教育長 学生の保護者負担
が大きいため、一律の支援
ではなく、年齢に応じた負
担軽減とした。



さらにくらし応援
D52(ゴーツー)
商品券発行

前回販売したプレミ
ム率50%商品券の経
済効果は。
商品券の電子化はし
ないのか。

商工観光課長 町内登録事
業者で1億3000万円が
換金され、非常に効果は
あった。
商品券の電子化につい
ては、登録業者の受け入
れ態勢の整備という課題
がある。

特別会計

子育て世帯、住民税非課税世帯に対する特別給付事業

子育て世帯、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金事業に町独自に5万円を上乗せし15万円、該当する子育て世帯に10万円を支給するとあるが、給付までのスケジュールは。

福祉課長 ひとり親世帯の児童扶養手当支給世帯は6月23日、町上乗せ分は県の支給決定後に振り込む。ふたり親世帯の該当世帯には、支給を受けるかの確認書を送付し、7月11日に振込予定。
非課税世帯へも確認書の送付をもってプッシュ型で支給する。

公共交通事業者へ継続支援金

今回の支援内容は。

企画総務課長 国からの依頼により、バス・タクシー事業者へ運行系統数や車両台数に応じて支援する。

介護保険税減免措置を1年延長

コロナが原因の収入減とはどのように判断するのか。

保険健康課長 コロナが原因の減収でなければ対象にはならない。窓口で話を聞き判断する。

議案等審議の結果

第3回 臨時会 (4月25日)

件名	審議結果	件名	審議結果
令和4年度一般会計補正予算(第1号) ・主に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業による増額で、歳入歳出それぞれ1億5026万円を増額し、予算の総額を55億3726万円とする	可決	専決処分の承認(令和3年度一般会計補正予算(第13号)) ・地方譲与税、地方交付税などの額の確定に伴い、専決処分したもの	承認
令和4年度商品券特別会計補正予算(第1号) ・プレミアム付商品券を発行するため、歳入歳出それぞれ1億9927万円を増額し、予算の総額を1億9968万円とする	可決	足柄西部清掃組合議会議員の補充選挙 ・町議会が選出した組合議員が欠けたことに伴い、選挙を行うもの「瀬戸伸二」氏	指名推選
専決処分の承認(国民健康保険税条例の一部を改正する条例) ・地方税法施行令の改正に伴い急施を要するため、専決処分したもの	承認		

第2回 定例会 (6月10日~14日)

件名	審議結果	件名	審議結果
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 ・放課後児童健全育成事業を所管する課が、福祉課から子ども教育課に変更となったことに伴い、改正するもの	可決	介護保険条例の一部を改正する条例 ・新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる場合等における介護保険料の減免措置を継続するにあたり、改正するもの	可決
放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 ・放課後児童クラブを所管する課が、福祉課から子ども教育課に変更となったことに伴い、改正するもの	可決	令和4年度一般会計補正予算(第2号) ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付事業や子育て世帯臨時特別給付金事業による増額で、歳入歳出それぞれ5851万円を増額し、予算の総額を55億9577万円とする	可決
保育園条例の一部を改正する条例 ・保育園を所管する課が、福祉課から子ども教育課に変更となったことに伴い、改正するもの	可決	令和3年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告 ・令和3年度に実施する予定だった民生費、農林水産業費を繰り越し、令和4年度に実施するもの	報告のみ
認定子ども園条例の一部を改正する条例 ・認定子ども園を所管する課が、福祉課から子ども教育課に変更となったことに伴い、改正するもの	可決	令和3年度土地開発公社事業報告及び決算報告 ・平山地区工業用地内の宅地分譲地を売却、つぶらの事業用地や中川湯の上用地をはじめとする開発中土地について、利活用の調査研究	報告のみ

問 更なる地域活性化を

答 具体的な活性化策を見出していきたい



和田 成功 議員

昨今、少子高齢化や価値観の多様化により、行政への町民ニーズは多様化、高度化している。

一方、生産年齢人口の減少で税収入は減少傾向にあり、行政だけでは対応できない課題が増えている。

さらにコロナ禍以降人々の生活様式は一変しており、住民コミュニティの希薄化がさらに進行することを危惧する。

そこで、地域活性化と行政サービス向上のための「持続可能なまちづくり」が重要であると考え質問する。

問 山北駅周辺の賑わいの創出に努めていると思うが、今後の地域活性化の計画は。

答 商工会など関係機関と検討を重ね、具体的な活性化策を見出していきたい。

問 D52を地域活性化に活用していくべきと考えるが、今後の計画は。

答 新たな運転手などを育成し、専門のスタッフを配置した上で、運転体験・乗車体験により集客することなどを実施し、体験型ふるさと納税返礼品に関連させていきたい。



D5270の魅力的なビジョンを示し、地域活性化へ (山北町観光協会提供)

問 D52の魅力的なビジョンを示し、ガバメントクラウドファンディング(※)を活用すべきでは。

答 クラウドファンディングのようならふるさと納税は重要であると考え、様々なクラウドファンディングもやっていきたい。

(※)ガバメントクラウドファンディングとは
自治体が寄付金の使途をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した人たちから寄付を募る仕組み

問 遊歩道が一般開放された洒水の滝を地域活性化においてどのように活用していくのか。

答 森林セラピーコースとも関連した自然体験型観光として積極的にPRし、誘客を図っていく。
また、ドローン撮影動画を観光協会などで放映し情報発信を行うなど、引き続き関係人口の増加に取り組んでいく。



洒水の滝の魅力を発信し地域活性化へ (山北町観光協会提供)

問 酒匂川左岸道路整備は松田町と同時に
答 早期開通に向け松田町との
 情報共有を図る



遠藤 和秀 議員

酒匂川左岸道路整備は、平成23年9月議会で「向原～庶子間の河川管理道路実現については、有効利用が一刻も早くできるよう、県へ要望する」と答弁している。さらに平成27年3月議会では「県西土木事務所、松田町、山北町と協議をし、酒匂川左岸道路の名称で道路整備を進めている」との答弁があった。

酒匂川左岸道路の開通は、町の活性化や経済効果にも繋がるため、早期整備が必要と考える。そこで質問する。



酒匂川左岸道路、向原～庶子間整備予定地

問 近隣市町と調整が必要な道路整備計画等は町長が先頭に立ち、協議し取り組むべきと考えるが。

答 松田町では民間の力を活用した手法をよく取っている。それらの情報を聞きながら共同してできることからやっていきたい。

答 河川法に基づく許可が必要で、県と協議を進めている。松田町も本町と同じく許可に向けた県との協議を進めていると聞いている。今後も松田町との情報共有及び連携を図り、早期開通に向けて整備を推進していく。

問 松田町では令和4年当初予算で、山北町まで接続する酒匂川左岸道路の詳細設計委託料を計上している。

「酒匂川左岸道路」の実現化には、松田町と並行して整備が必須と思うが。



酒匂川左岸道路の山北側整備予定地

問 令和元年12月議会で、「ぐみの木松原先線改良工事は、早急に進めて2022年度内に完成を目指す」と答弁があった。今後の具体的な取り組みは。

答 浸透流解析(※)を実施するなど、県から指摘のあった事項を精査し、年度内に許可が下りるよう準備している。令和5年度以降、用地取得に向けた地権者交渉等を進めていく。



ぐみの木松原先線改良工事予定地

(※) 浸透流解析とは
 地下水がどう流れているか、工事などで地下水流れがどう変化するか予測する技術

問 高齢者が安心して暮らせるまちづくりを

答 日常生活支援の事業を見直し取り組む



瀬戸 恵津子 議員

コロナ禍のため、高齢者は外出自粛等により運動や社会参加等の機会が減少している。
健康維持に影響が出ており、住み慣れた自宅暮らしの継続に対し支援の見直しが必要であると考

問 緊急通報サービス事業は、一人暮らしの高齢者と障がい者に対する事業だが、周知が足りない。多くの方に安心をもたらす事業として、見直すべきと思うが。

答 対象者は非課税の方と所得要件を設けているため、稼働率が下がっている。その点を撤廃する。急病や災害等緊急時の通報手段を確保し、安心できる生活環境を整えることが目的なので、多くの方に利用していただくために安否確認等も可能となるようなシステムへの見直しを検討していく。

町の高齢者の状況

- ①一人暮らし高齢者 534人
- ②高齢夫婦世帯 494世帯
- ③介護認定率 18.9%
- ④高齢化率 41.6%

※①～③は令和3年4月現在、
④は令和4年6月現在の数値



いざという時は非常ボタンを 移動時はペンダントを携帯

問 買い物難民といわれる近くに商店のない方への支援として、宅配サービス等についての取り組みは。

答 町民の声は多様であり課題も多い。商工会や関係事業者と連携し、買い物への移送サービスも含めどのような支援が可能か検討していきたい。

問 健康寿命(※)を延ばすためには、介護認定になる前の早い段階での筋力増強事業が必要だが取り組みは。

答 新たに高齢者の「フレイル」(※)に着目し事業を実施する。町民自らがフレイル予防を進められるようフレイルサポーターを養成し、身近な場所でフレイルチェックができるなど、健康寿命の延伸のためにも、フレイル予防対策に取り組む。

(※)健康寿命とは
日常生活において健康上の大きな問題を抱えることなく過ごせる期間のこと

(※)フレイルとは
加齢とともに心身の活力が低下し生活機能に衰えが出現する状態

問 やまきた森林サイクリングコースの計画を 答 実現は非常に難しいと考える



堀口 恵一 議員

山北町を通り抜けられる「やまきた森林サイクリングコース」を計画すれば、森林や水資源への親しみが増し、林業への関心や保全への協力、町への来訪者の増加に寄与するのではないかと考える。

また、山北町では「水と緑のふれあい交流協定」、「水源地域における交流事業の実施に関する協定」を品川区や川崎市と結んでいるので、森林環境譲与税などで協力も得られるのではないかと考え質問する。



こんな「やまきた森林サイクリングコース」の設置を



やまきた森林サイクリングコースで山北から山中湖への新ルートを！！



三保ダム広場、ひだまりの里付近 想定コース拡大図

問 令和4年3月の県ホームページによると「かながわ西エリアの全域に『自転車駅』を設置した」とある。町では何か考えはあるか。

答 観光振興にも繋がるため、自転車と自動車の双方が安全に行けるよう、必要な広報周知に努めたい。

問 国道246号を通らないで山北を通り抜けるコースとして、世附の水の木幹線林道を生かした静岡県小山町及び山梨県山中湖村に通るルートを検討しては。

答 良いアイデアだと思うが、安全を第一に考えると実現は非常に難しいと考える。

問 河内川ふれあいビレッジ、既存の田畑、ひだまりの里、三保ダム広場、尾崎駐車場までを連携させる回遊ルートを計画してはどうか。

答 新たなルートは計画していないが、地元の意向を第一にと考えており、現在は、県道76号線を利用した丹沢湖へのルートを推奨している。

問 放置状態の森林館・薬草園などでマウンテンバイクコースを作り、都会との連携事業を進めてはどうか。

答 様々な条件が合い、事業化が見込まれる場合は、新たなアクティビティの創出につながる事業として、支援していきたい。

問 射撃訓練の騒音調査の要望を

答 町としては対応しない



富田 陽子 議員

陸上自衛隊東富士演習場からは、訓練のたびに砲撃の騒音が鳴り響き、生活に苦痛をもたらしている。

総合火力演習が行われる際には特に騒音や振動がひどく、建具ががたつく、寝ていた赤ちゃんがびっくりに泣きだすなど、清水地区の一部から苦情が多く寄せられている。

個人で南関東防衛局に電話をかけても局内の各担当間を巡らされてしまい、実情が伝わりきれていない実態もある。

町として声をまとめ、届けるなど取り組む必要があると考え、質問する。

問 湯触地区を中心とした住民を対象に、訓練に対する生活への影響のアンケート調査を独自に行った。

答 その結果より、現地の確認や調査を要望するべきでは。

問 昨年度に町や自衛隊の担当者による現地確認等を行った段階では、国に対して何らかの対策を要望することは難しい。

答 昨年度に町や自衛隊の担当者による現地確認等を行った段階では、国に対して何らかの対策を要望することは難しい。

問 要望できないのであれば町独自で調査を。

答 自衛隊が独自で調査し、公表している中、自衛隊との関係も総合的に勘案し、町としてすぐに対応できない。

問 町で苦情等をとりまとめる窓口を設け受け付けては。

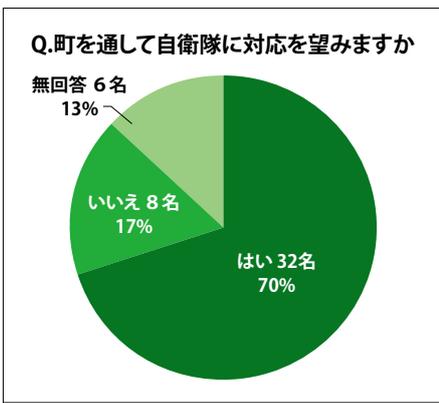
答 行政で対応することは難しい状況である。

問 あんしんメール等を利用して、事前に訓練の日程や時間を利用し、町民に知らせては。

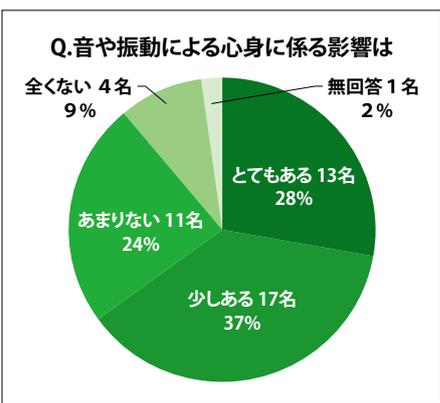
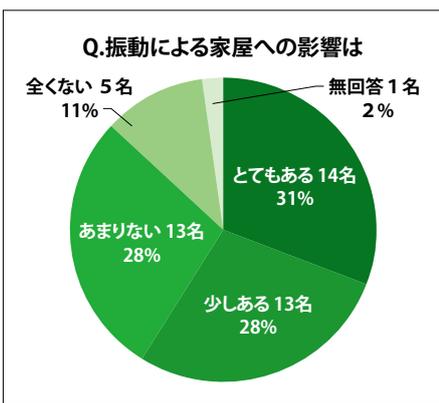
答 あらかじめわかる訓練であれば、対応していきたい。

問 自衛隊で一般参加できるイベント等を行っているので、ぜひ参加してほしい。

答 自衛隊で一般参加できるイベント等を行っているので、ぜひ参加してほしい。



・ ・ アンケート調査 ・ ・
 自衛隊が東富士演習場にて行っている訓練について
 ・対象地区：湯触・大蔵野・嵐・野背開戸
 ・配布数：51世帯
 ・回答率：90%



問 コロナ禍が続く中での 住民生活における不安解消の対応を

答 今後もていねいな説明に努める



清水 明 議員

ウクライナ情勢をめぐり真実を知ることが国民にとって重要であることが改めて実感させられている。このことは行政が住民にきちんと情報を伝えることが求められていることである。

防災や防犯をはじめ、生活環境において、行政からの情報が伝わることによって、住民は安心な生活を送ることができる。

そこで、不安の声を解消するために質問する。

問 富士山噴火について被害想定をどのように考え、避難計画を策定しているのか。

答 最大規模の溶岩流噴出の場合、町のほとんどの地域の住民が人命保護のため、町外への避難を余儀なくされるものと想定している。県の広域避難計画策定の進捗を踏まえながら、可能な範囲の広域避難計画を、本年度末までに策定する。

問 駅前交番統廃合後の対応について、交番跡地を県から買い上げて活用する計画はないか。

答 今のところ買い取る予定はない。

問 町内循環バスの使い勝手が良くないとの町民の声があるが、どのような対応を考えているか。

答 地域生活・交通網の状況や利用者のニーズなどにより、バスの停の移設や経路の変更等を行ってきた。

今後利用者意見や要望等に耳を傾け、利用しやすい運行を目指していく。

問 教職員の不足が全国的に深刻になっている。志望者の減少は質の低下につながり、子どもたちの教育を受ける権利の侵害につながるおそれもある。山北町の状況はどうか。

答 町の幼・保・こども園・小・中学校の教職員等の配置については、国や県の定めた基準を満たしている。



寂しくたたずむ旧山北駅前交番

原稿は、質問者本人が作成しています。



やまきた町議会
おしゃべり Cafe

いただいたご意見を参考に、一般質問や町行政に直接伝えるなどして改善に努めています。



4/20 山北駅前 Cafe NICO

- ◆ 気軽に立ち寄れるコミュニティ施設があると良い。
- ◆ 循環バスの年間パスがあると助かる。
- ◆ 無人販売所や湧き水のマップを作り山北の魅力を伝えたい。
- ◆ 山北のアピールポイントとして、豊かな自然、丹沢湖、温泉、水のおいしさなどたくさんある。移住者にサップやキャンプ、温泉の割引券を渡し、友人を招待させたら良いのでは。
- ◆ 果樹のオーナー制度を利用して都市部から人を呼び込めないか。
- ◆ 富士山噴火対策、町の具体的な考えを示して欲しい。

5/20 小田原百貨店

- ◆ 山北の空き家は大きすぎる。小さめの空き家もあってもよいのでは。
- ◆ お試し住宅の基準を見直したほうが良い。1泊2日とか短期での利用ができるよう見直したほうがよい。
- ◆ 山北駅、谷峨駅はハイカーが多く利用している。駅に定住促進（山北の魅力を網羅した）のチラシを置くべきだ。

おしゃべりCafeは 毎月20日開催！

町議会では、皆さまとの意見交換の機会を増やすことを目的に「おしゃべりCafe」を開催しています。

- 日時：8月20日(土) 13:30~15:30
場所：山北駅前 Cafe NICO広場
(芝生スペース付近)
- 日時：9月20日(火) 13:30~15:30
場所：小田原百貨店山北店
(イートインコーナー付近)

各種団体、グループとの出張おしゃべりカフェも始めています。ご要望があれば、どこへでも伺います。
ご希望の方は、議会事務局 (☎75-3653) まで。



※当日の様子など記載した
おしゃべりCafe通信は
ホームページでご覧いただけます。



No.209議会のおと 広報モニターアンケート

12名の議会広報モニターの皆様から、前号に関するアンケートに回答していただきました。紙面の関係上一部を紹介いたします。なお、ホームページでは全部を掲載していますのでご覧ください。

～議会だよりを多くの方に読んでもらうために～

- ◆ 町民が地方民主主義にコミットしているのか、そこが最も大切なところなのではないでしょうか
- ◆ ユーシンのユーシンブルー、ヤマブキの花の色、新緑の色等、目に飛び込む色使いで変化のある構成を期待します。



～表紙・裏表紙について～

- ◆ 近い将来明るい光が差し込む期待を、大いに感じることができました。
- ◆ マスクなしの子どもたちの表情が明るく、楽しそうでこちらも嬉しくなります。

その他ご意見

- ◆ ユーチューブが始まったんですね。とてもよいと思います。
- ◆ 議会の様子も録画配信を始めるとのこと、すごいニュースだと思えます。議員の頑張り感謝です。
- ◆ 紙面も結構ですが、やっぱり顔を合わせて意見交換をしたいと思います。(せっかくですから)

～おしゃべりカフェ、モニターアンケート、山高生の声について～

- ◆ 山高生の声は、いいと思いました。このような試みを町民に広く行っていくことで、議会だより、ひいては町政への関心はぐっと高まっていくと感じました。
- ◆ 高校生の視点からの声は、若い世代にどうアピールしていくかという課題に豊富なヒントを与えてくれるように思う。

※全集計結果はホームページに掲載しています。



第2期議会広報モニター 始まりました

第2期議会広報モニター 12名が決定致しました。

モニターには4月から2年間、議会だよりに関するアンケート調査等に協力していただき意見交換会も予定しております。

いただいたご意見を今後の編集、広報活動へと反映させ、読みやすい「議会のおと」を目指していきたいと思っております。

議会モニターメンバー紹介

- | | |
|---------|---------|
| 湯川 智美さん | 栗田 陽一さん |
| 滝本小夜子さん | 関 律子さん |
| 藪田 悦子さん | 石渡 誠一さん |
| 和田 真希さん | 瀬戸 礼さん |
| 飯島 彩音さん | 赤井 淳一さん |
| 堀口 直之さん | 富樫 元気さん |

任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日



活きいきひろば

団訓「努力・いたわり・けじめ」

山北JVC（ジュニアバレーボールクラブ）

代表 松田浩義さん



私たちは、バレーボール競技のレベル向上と生涯スポーツの振興並びにスポーツを通じた青少年の健全育成を目的とした青少年の健全育成を目的とした小学生バレーボールチームです。

平成17年に復活創部を果たし、現在男子・女子ごとにチームを編成し、計40名の部員を擁しています。

活動は、毎週水曜日と土曜日（小中学校体育館）の通常練習と、小田原地域、県・関東・全国に繋がる各種大会出場や、チームの絆を深めるための合宿やレクリエーションなど多岐にわたります。

目標は、もちろん「全国大会・・・」としたいところですが、一年生から六年生まで和気あいあいと楽しく、時には厳しく指導にあたっています。本クラブは、保護者の負担を極力抑えるためスタッフを充実させ、保護者はお子さんの送迎と応援に集中できるよう運営しています。

これまで、大勢の部員が卒業し、中学・高校・大学・社会人のチームで活躍している姿を見ることができ、スタッフ一同大変うれしく思っています。年間を通じ、新入部員を歓迎しています。いつでも見学にお越しください。



議員補欠選挙当選者

(7月10日執行)



藤原 浩氏 (60才)



大野 徹也氏 (66才)

編集後記

炎暑の八月。サルスベリ(百日紅)の赤い花が目にしみます。夏は暑い。当たり前の事ながら今年ほど実感させられる年もないのではと思う今日この頃です。気がつけば、いつの間にか日常化しているコロナとインフルエンザ、そして熱中症。エアコンなしでは過ごせないのに節電の要請。

八月はまた、祈りの季節。教師をしていた頃、繰り返し子どもたちに語ったことを思い出します。「世の中で憎まなければならぬものが二つある。『戦争』と『貧乏』だ。僕たちが幸せになるために絶対になくさなければいけないと、僕は思っている。」と。

さて、議会広報モニターは新メンバーとなり、また議会にも新しい議員が加わり、さらに熱く情熱をもって、議会のおと発行に取り組んでまいります。(清水 明)

議会の傍聴においでください

第3回定例会(予定)

9月5日(月)~

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ
議会事務局

75-3653

議会ホームページ
山北町ホームページ
→町議会のアイコンをクリック



- | | | |
|-------|-------|------|
| 広報分科会 | 会長 | 清水 明 |
| 委員長 | 堀口 恵一 | |
| 委員 | 和田 成功 | |
| | 石田 照子 | |